## 星の在り処

君の影星のように朝に溶けて消えていく いたきたを失くしたまま想いは溢れてくる

強さにも弱さにも この心は向き合えた 整常とならどんな明白が 来ても怖くないのに

ニ人歩いた時を 信じていてほしい

さよならを知らないで 夢見たのは 一人きり あの頃の 君の首には 何が映っていたの?

ニ人つないだ時を 誰も消せはしない

孤独とか痛みとか どんな 
君も感じたい 
もう一度 見つめ合えれば 願いはきっと叶う

思い出を羽ばたかせ 君の空へ舞い上がる ほしそら きさ と 星空が朝に溶けても 君の輝きはわかるよ

愛してる ただそれだけで 二人はいつかまた会える

きみのかげ ほしのように あさにとけてきえていく 君 影 星 朝 溶 消 いきさきをなくしたまま おもいはあふれてくる 行 先 失 想 溢

<u>ふたりある</u>いたときを しんじていてほしい <sub>二人 歩 時 信</sub>

しんじつもうそもなく よるがあけてあさがくる<br/>真実虚夜明朝来ほしぞらがあさにとけても きみのかがやきはわかるよ<br/>星空朝溶君輝

さよならをしらないで ゆめみたのは ひとりきり 知 夢見 一人 あのころの きみのめには なにがうつっていたの? 頃 君 目 何 映

<u>ふたりつないだときを だれもけせはしない</u> <sub>二人</sub> 時 誰 消

こどくとかいたみとか どんなきみもかんじたい <sub>孤独 痛 君 感</sub> もういちど みつめあえれば ねがいはきっとかなう <sub>一度</sub> 見 合 願 叶

よあけまえ まどろみに かぜがほおを ながれていく 夜明 前 風 頬 流 きみのこえ きみのかおりが すべてをつつんでみちていく 君 声 君 香 全 包 満

おもいでをはばたかせ きみのそらへまいあがる 思 出 羽 君 空 舞 上 ほしぞらがあさにとけても きみのかがやきはわかるよ <sup>星空</sup> 朝 溶 君 輝

あいしてる ただそれだけで ふたりはいつかまたあえる  $^{\otimes}$   $^{=\wedge}$